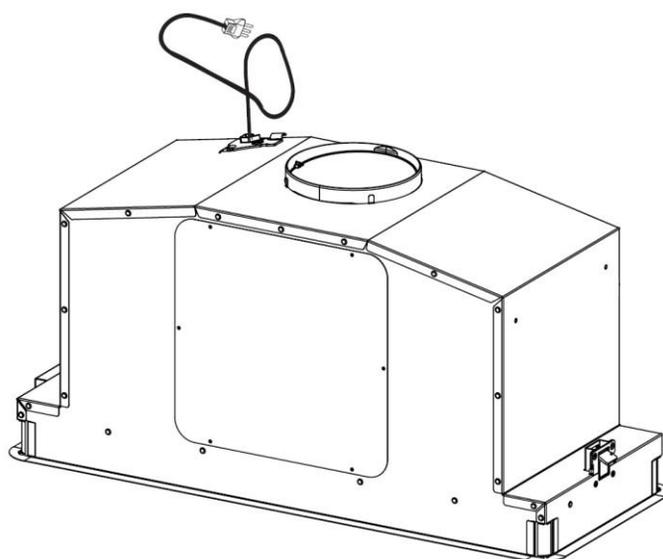


FABER S.p.A製ビルトインレンジフード

INCA IN-LIGHT

施工要領書



Index

- ・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。） 2
- ・ 使用部品一覧 3
- ・ 寸法図 3
- ・ 施工手順 4～6

施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）

キッチンの設計にあたっては本書を熟読になり、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねますので十分にご留意願います。

- 設置/廃棄に当たっては各地方自治体の条例などに従ってください。
- 施工は2人以上で行ってください。
- 電源は100V 50/60Hzの**専用回路**をご用意ください。
- 定格125V 10A以上のアース付きコンセント(Panasonic WK3001の同等品)をご用意ください。
- 電源線の長さは約1mです。
- 本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。
- レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けたり窓やドアを開けるなど屋内外の気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。
- 製品の仕様は事前の予告なく変更することがございます。
- 設置前に必ず通電し動作確認を行ってください。
- 施工にはかならず適切なツールをご使用ください。
- 吊戸棚内への設置という特性上、ビビリ音が発生することがございます。適宜対策を講ずるようにして下さい。

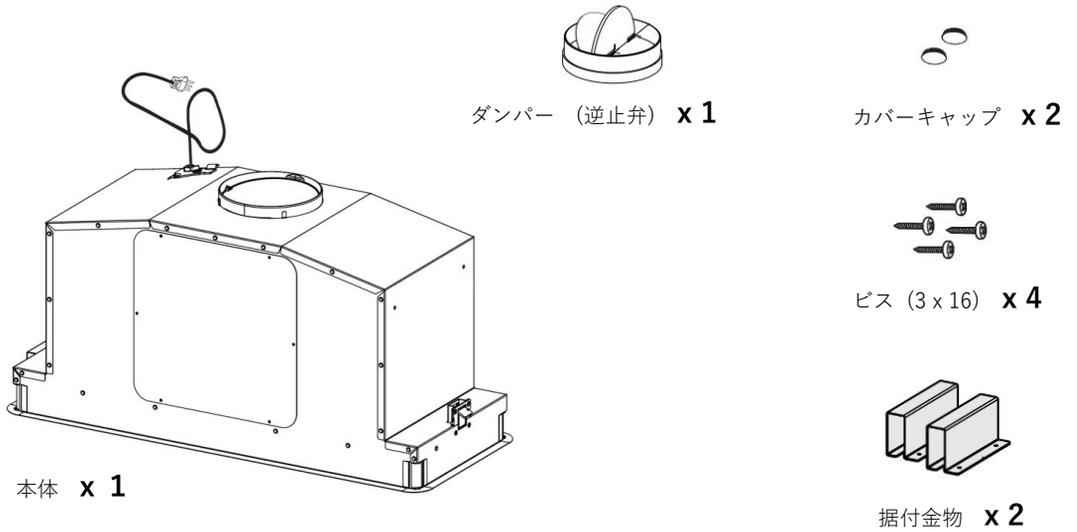


WARNING

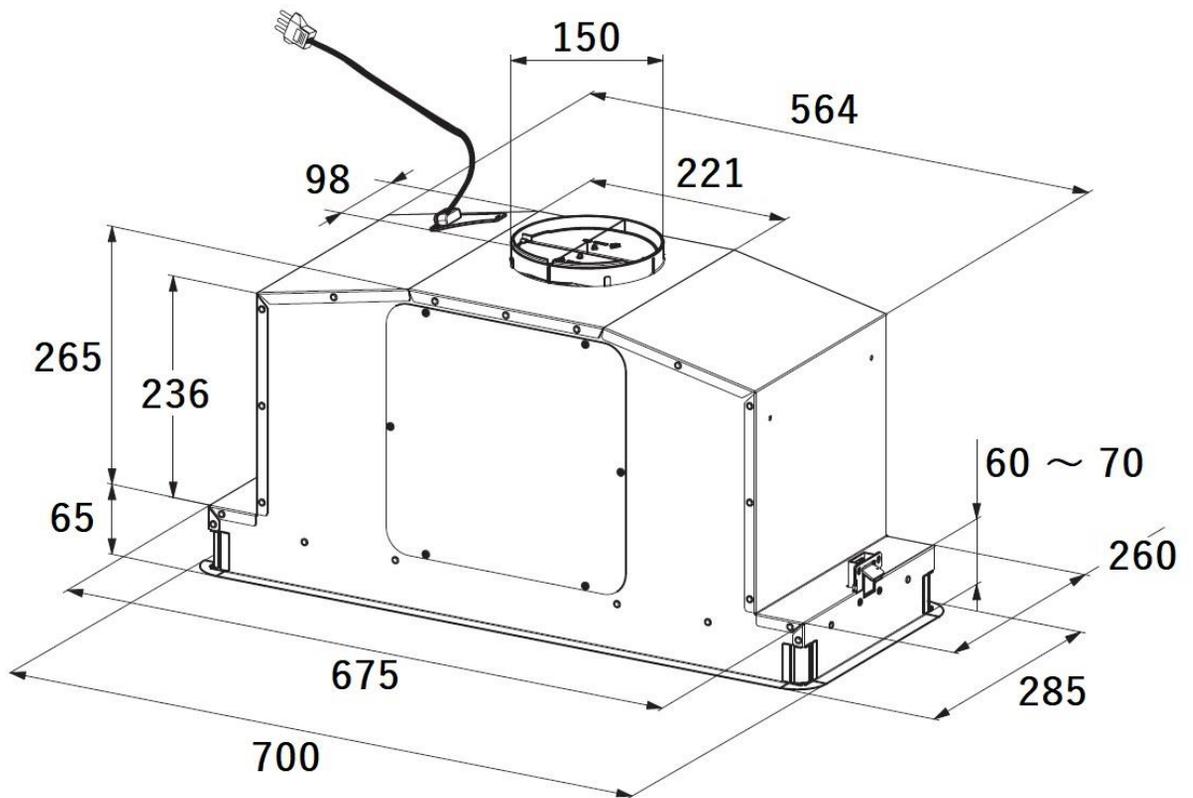
- ・レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- ・屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ・ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- ・フレキシブルタイプのダクトは推奨されません。圧力損失が生まれ、レンジフード本来の排気能力が失われます。
- ・ダクトの長さエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。最大のダクト長さは10mです。90°のエルボ1箇所が直線ダクト長さ1.5mに相当します。
- ・エルボを2つ連続させる形で取り付けしないでください。
- ・ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- ・本製品は欧州製IH調理器とのみ併用が可能です。国産や欧州外メーカー製IH調理器やガスコンロなど火炎の発生する調理機器との併用は絶対にしないでください。誤作動や重大な事故につながる危険がございます。
- ・このレンジフードにはアースが必要です。
- ・冷水パイプやガス管に接地しないでください。
- ・接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- ・レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

使用部品一覧

下記部品がそろっていることをご確認ください。



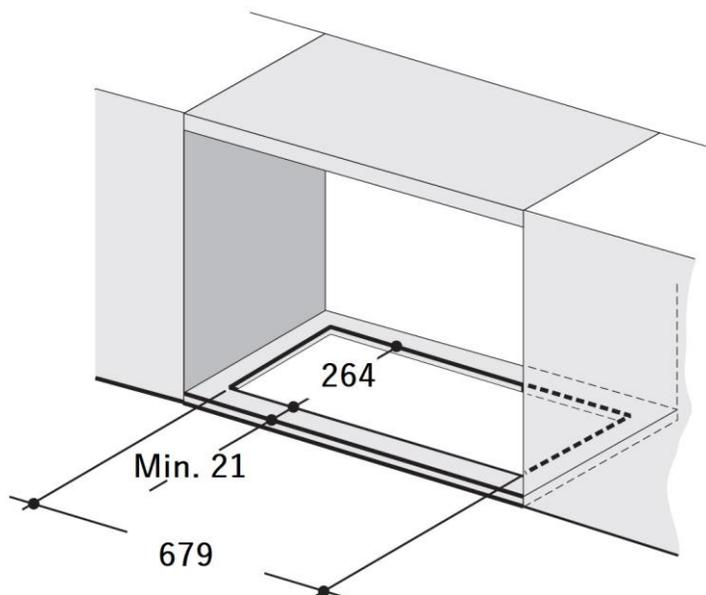
寸法図



施工手順

①天板加工寸法及びキャビネット内寸の確認

まず初めに設置場所に下記の通り正しい寸法で開口が設けられているかを確認してください。

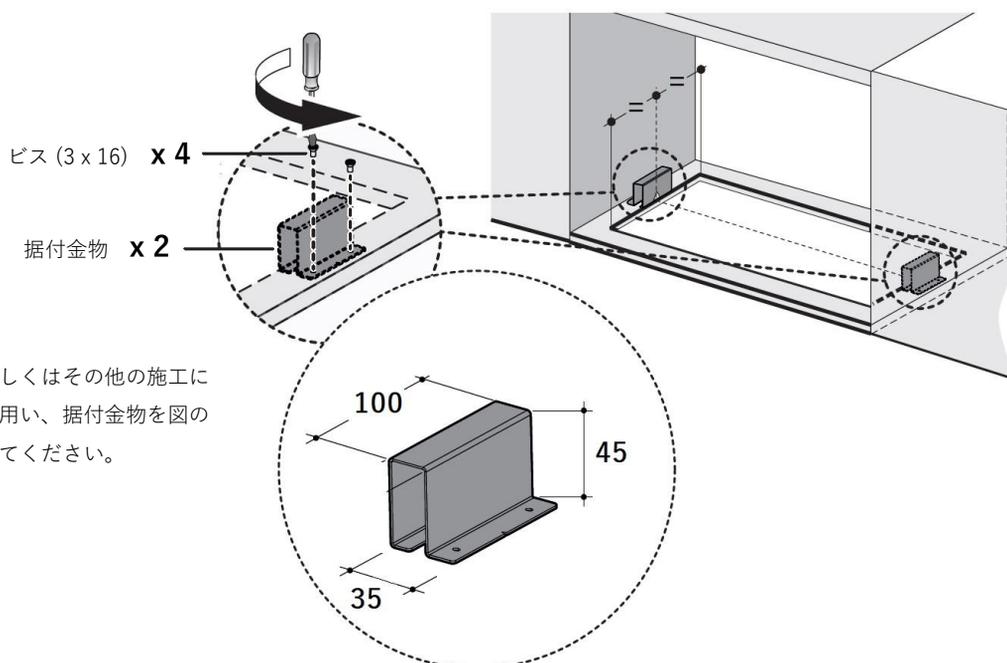


注1：本商品の重量は約12kgです。吊戸棚の底板及び吊戸棚など設置個所に十分な強度を設けてください。

注2：開口から各端部までの離隔距離は最低でも21mm設けてください。設置場所の素材強度によってはさらに離隔を設けるようにしてください。

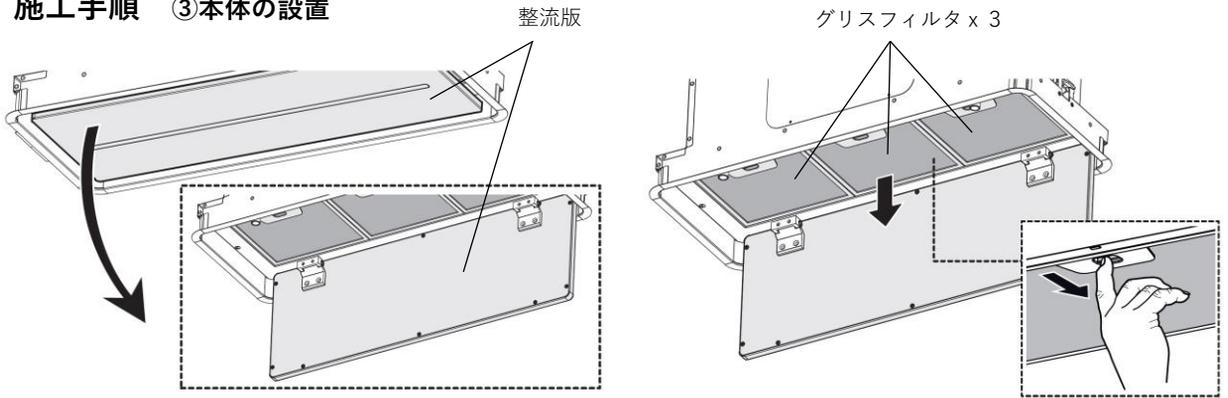
注3：吊戸底板の厚みは15～25mmとしてください。

②据付金物の取付け



付属のビスもしくはその他の施工に適したビスを用い、据付金物を図のように固定してください。

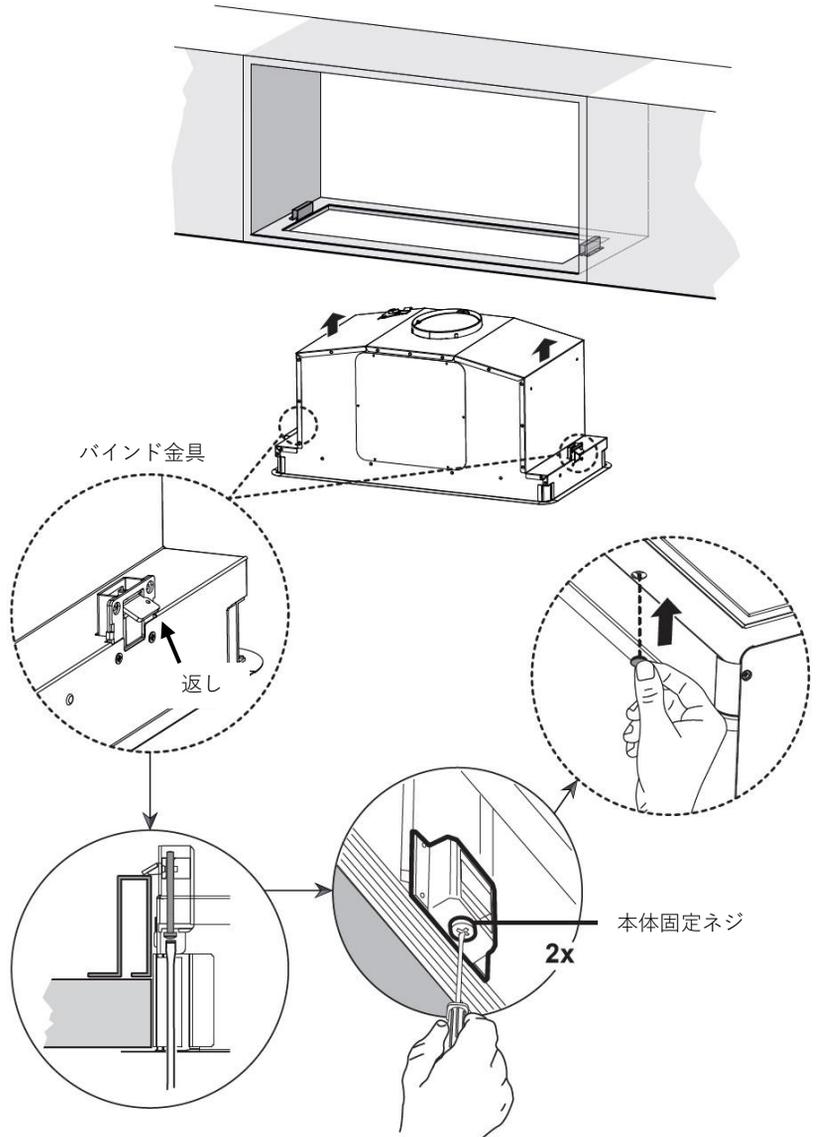
施工手順 ③本体の設置



本体の設置前の準備として、上の図の通り整流版をあげグリスフィルタをすべて取り外してください。

右図を参考に本体の取付を行ってください。

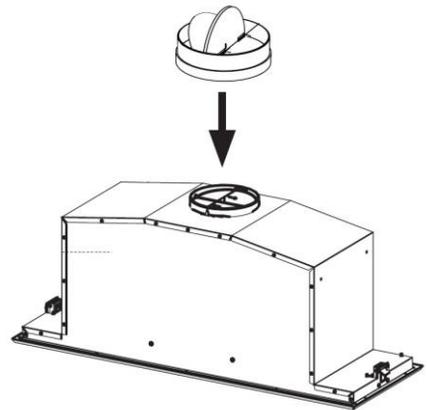
- ① 本体差込み（取付）ができるように
バインド金具の“返し”が上端にくる
まで本体固定ネジを緩めてください。
- ② バインド金具の“返し”が据付金物の
天端を越えるまでフード本体を押し
込んでください。
- ③ 左右にある本体固定ネジを均等に締め
こんでください。
この時、締めすぎなどに注意してく
ださい。
- ④ 締め込み後、カバーキャップを取り
付けてください。



施工手順 ④配管接続と動作確認

ダンパーを取り付け、配管を行ってください。

※この時、ダクト用のバンド（ホースクランプetc..）などでダンパーをきつく締めすぎるとダンパーの弁が開かなくなりますのでご注意ください。



主電源へ接続し、取扱説明書（別資料）を見ながらテスト運転を行ってください。

※主電源は100V 50Hz/60Hzアース付きコンセントをご用意ください。

（Panasonic社製 WK3001同等品をご用意ください。）

不要な養生シールなどをすべて取り除いてください。

以上で施工は完了です。お疲れ様でした。施工についてご不明点あれば下記までご連絡ください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-Osaka.com>